

がんに関わるさまざまな情報提供を行う  
「京都府がん総合相談支援センター」にも相談を

# 子宮頸がん検診を 受けていますか

若い世代に増加している子宮頸(けい)がん。早期発見に向けて、定期的に検査を受けることが大切です。京都府では、子宮頸がんの正しい知識の普及や検診の啓発を実施。がんに関わる相談窓口として「京都府がん総合相談支援センター」を設置しています。

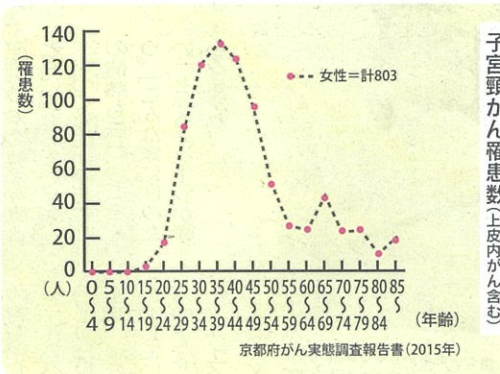
京都府

2年に1回の検診が  
推奨されています

女性のがんの中でも、場合も多く、知らない間に進行してしまうことかある人が多いといわれている子宮頸がん。全国でも、早期に発見できれば、治療もしやすいとされています。特に20〜30代の患者が増えています。

子宮頸部(子宮の入り口)にできる子宮頸がんの発生には、HPV(ヒトパピローマウイルス)が関係しているそう。患者の90%以上から見つかるこのウイルスは、性交渉で感染することが知られています。珍しい事例ではなく、一度でも性交渉をしていれば感染の可能性があります。たいていの場合、ウイルスは自然に排出されますが、長期にわたって感染しているとがんになるケースがあるのだとか。

子宮頸がんの症状としては、生理以外の出血、性行為による出血、おりものの異常、足腰の痛み、血尿が挙げられます。ですが、初期は症状がない



がんに関する悩みや  
不安を話してみませんか

「京都府がん総合相談支援センター」では、がんに関わる相談を受け付けています。患者本人やその家族、周囲にがん患者がいる人など、誰でも無料で利用可能。対応してくれるのは、保健師や看護師、そしてピアとと呼ばれるがん経験者のスタッフです。

「がん」と診断されて不安。「患者とどう接したらいいか悩んでいる」「抗がん剤の副作用で困っている」など、相談内容はさまざま。病院選びや治療方法の選択に役立つよう、各病院の治療実績や専門医などの情報も提

供。患者の生活や仕事の相談にものっているものがあります。がんに関する冊子も無料で配布されています。



機種によっては、読み取り・利用できない場合も

京都府がん総合相談支援センター

おなやみ(き)くよ

0120(078)394

京都市南区東九条下殿田町43 ムルクリオ京都2階(地下鉄「九条」駅から徒歩約3分)。午前9時~正午、午後1時~4時、土日祝休。http://www.gansoudan-kyoto.jp/

予約・問い合わせ

同センターにはがんの情報をもとめた無料の冊子が多数用意されています。電話相談の場合には必要に応じて郵送してくれるので

